

5・6月の予定

- 5月16日(月)～20(金) こどもセンター個別懇談①
※後日、日程を順次お知らせしていきます。
- 6月11日(土) スポーツ交流会(あすなろこどもセンター合同)
※後日お便りにてご案内します。

さくらが丘こどもセンター職員の むかしばなし



中西 沙由里

《こどもの頃、大変だったことは？》

私は4人きょうだいで、上から兄、私、第2人の順番で中西家唯一の女の子です。よく「女の子だからかわいがられたでしょう。」と言われましたが、全くそのようなことはなく、男きょうだいと同じように育てられました。小さい頃に見ていたアニメは戦隊もので、きょうだいと一緒に近所の空き地に秘密基地を作るなどアクティブなこどもでした。

こどもの頃大変だったことと言えば、きょうだいが多いといつも取り合いになることがあります。それは食べ物と母親の取り合いです。きょうだいの年が近く、食べ盛りのこどもが4人もいればいつも食べ物のことで戦いが勃発していました。また、みんな母親のことが大好きだったため、母親が誰かートを構えば、他のきょうだいはふて腐れていました。そんな時、母親は「あなたのことが一番好きよ。」と一人ひとりにこそつとやることできょうだいの機嫌を取っていました。

きょうだいが多いから大変だったこともありますが、今では「きょうだい仲がいいね」と言われるほどです。

おしらせ・おねがい

- 汗をかいたり、汚れたりするので着替えを持ってきて、ロッカーに入れておいてください。
- 施設に入る際、門の開閉は必ず保護者の方が行ってください。また、保護者以外の方が送迎される際には、必ず門の開閉についてお伝えください。こどもの安全のためご協力をよろしくお願いいたします。



明日があるさ通信

さくらが丘こどもセンター
放課後児童クラブ便り
令和 4年 5月 6日 No.2

「5月の魔法」

山の緑が目鮮やかな季節になりました。冬の間は眠っていたような山々が、春になると少しずつ色づき始め、5月になると、すっかり生まれ変わったかのような美しい色に変わります。その様子を眺めていると、自然が多くのことを教えてくれているように感じてしまいます。

5月という、こどもたちは1学年ずつ進級し、新しい学校や学級へと移って一ヶ月が過ぎようとする頃です。また、社会人であっても、新しい職場や新しい部署で仕事を始めている人も多くいるでしょう。4月の始めは、無我夢中で生活していたことが、5月になってくると、いろいろな変化がだんだんと心にも影響を与えてくることから、「五月病」といわれる症状が現れるのもまたこの頃です。

慣れ親しんできた環境に身を置くのは居心地がいい反面、そこにいと変化がない分、進歩もなくなりま。慣れない環境の中に移ることは、自分がいかにその変化に対応できるか、それを試されている時期かなと感じます。私自身、たくさんの変化を経験してきました。すんなり変化に対応できたかという、むしろその反対のことの方が多かったように感じます。環境が自分にとって好ましくないと感じることもあれば、職場の人間関係や対人関係に疲れ、朝家を出てから職場へ着くまでにため息をついていたり、途中で車を止めて帰ろうかと思ったりしたことさえあります。

そんなとき私の心を支えてくれたのは、やはり本であったかと思えます。周りに自分の悩みを打ち明けられたいのですが、なかなか打ち明けられないときもあり、自分の弱さを見せたくないこともあります。そんなとき、先人の知恵がつまった本を読んでいると、不思議とそのときの自分の心に響く言葉に出会えたり、勇気をもらえる文に出会えたりするのです。

古来より、どんな人の人生でも順風満帆ではなく、それぞれが悩んだとき、どのようにその困難を乗り越えたか、その生き様を知ることで、自分もまたがんばろうという勇気を与えられたことが多くありました。

現代では本を読まない人が増えたことで、きっと生きる道しるべを見失っている人たちが多くいるのではないかと感じます。私は今でもいろいろな本を読みますが、いわゆるハウツー本では、一時の知識を得られてもその場しのぎで終わる情報がほとんどです。ところが、人の伝記や古典の小説を多く読むと、たくさん人の生き様を知ることができます。そうやって多様な人の人生の生き方を自分の中に落とし込むことができること、それこそが本を読む最大のメリットではないかと思うのです。

今まさに悩んでいる人があるとすれば、本屋へぶらりと立ち寄って、そこで気になった本をぜひ手にとってみてはどうでしょうか。きっとそれはあなたにとって、必要な情報がつまっている本だと思います。本を読むことで心の持ち方が変わると、昨日まで問題だと思っていたことが、きっと消えているか、少なくなるはず。本の持つ大きな魔法の力を経験してみませんか。これはネット書店では経験できない、リアル書店ならではの魅力です。

この大型連休、皆さんはどのように過ごされるでしょうか。山へ出かけるもよし、海に行くのもよし、日常を忘れ楽しい時をお過ごし下さい。私は、やはり本を読みますかね。おこもり生活で家での過ごし方も上手になってきました。ビール片手の読書タイムはこれまた最高！

さくらが丘こどもセンター 所長 杉井 康志

さくらが丘こどもセンターのHPには、下のHPアドレスまたはQRコードよりアクセスできます。

URL: <https://sakuragaokakodomo.okayamakodomokyoukai.jp>



放課後の おもしろさ

今年度になって一ヶ月が経ちました。小学校も無事始まり、新一年生も大きなランドセルを背負って放課後こどもセンターに登所しています。

放課後の貴重な時間は、友だち同士誘い合ってやりたいあそびを思いきり楽しんでいます。異学年での交流も多く、一緒に遊びながらあそびのルールややり方を伝え合っていて楽しんでいます。また、できるようになりたいことに挑戦する姿もあり、バスケを楽しんだり竹馬を練習したりとやりたいことに夢中なこどもたちです。

ホッケーで勝負！
よく見て相手へ返します。2人もがんばれ！



ゴールに向かってシュート！
バスケが楽しい！



みんなでおセロをしています。どうやったら勝てるかよく考えて楽しんでいます。



倉庫の中をきれいにしよう！おもちゃの整理や溜まった砂をきれいにしています。



何度も挑戦して乗れるようになった竹馬。どんどん背が伸びています！

「これはなんだろう。」と友だちと観察しています。



簡単にできるカーリングの手作りおもちゃを披露してくれました。「おもしろい！」と興味津々でした！



きれいに咲いた桜の木の下でお花見をしながらおいしいおやつをいただきました。



くちぶえの家を模様替え。本コーナーや卓球コーナーなど楽しく遊べるようになりました！



成長記録

新一年生はわくわくしながらこどもセンターに来ている子もいれば、不安な気持ちを持って来ている子もいたと思います。そんな子にはお兄さん・お姉さんたちが優しく声をかけたり、「これはこうやって遊ぶんだよ」と教えたりと頼もしい姿がたくさんありました。ステキなかかわり方をしてきたからか、一ヶ月経った今では一年生からお兄さん・お姉さんのことを慕って関わりにも行く姿があります。その姿が今後も繋がっていくといいなと思います。



園庭で遊ぶ前、安全に遊ぶように水線を引いて遊ぶ場所を決めたり、ベンチで囲ったりしています。自分たちが遊ぶ場所なので、こどもたちができるように声をかけると、「先生！外の用意しに行こう！」と誘って、率先して準備を始めています。

自分たちが過ごす場所自分たちで用意して作っていくことで、安全に対する意識が育ってほしいなと思います。

